

学校運営協議会制度とは

学校と保護者や地域の皆さんが、ともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協働しながら子ども達の豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を進める仕組みです。

委員の皆様

片柳 義隆 様……アシストネット地域コーディネーター・東部自治会長
安全ボランティア
関口 喜市 様……学識経験者(元大宮北小学校長)
福富 正男 様……安全ボランティア
小川 朝子 様……城内二南民生委員・城内二南自治会長
佐柄 忠浩 様……前本校PTA会長
直井 聖美 様……元本校PTA会長
岩出 律子 様……現本校PTA会長
阿部 誠 ……本校学校長
事務局…教頭・高木 紀之 教務主任…野田 富夫



話合いのあらまし

「PTA祭」について

- 《 委員 》 今年の本校のPTA祭と四小のピーター祭が同じ日になってしまった。毎年、四区の民生委員で、その日に合わせて野菜を育てているが、今回は提供する量が、例年よりも少なくなってしまう。今年は仕方がないが、来年は日程の調整をして欲しい。
- 《 学校 》 昨年度末に本校と四小で、入念に日程の調整をした。ところが、本校と四小、アルス南幼稚園の行事調整の結果や本校校庭の使用割当等が、複合的にからみ合っこのように重なってしまった。学校予算の減額により、PTA祭における売上金は、貴重な収入源になるので、今後このような事態に陥らないように、より一層四小や南アルス幼稚園と連絡を密にして日程の調整に努めたい。

「コミュニケーション能力の育成と外国人の人権」について

- 《 委員 》 私の職場にネパール人がいるが、これからの時代はどんどん外国人が移り住んでくる。
- 《 委員 》 子ども達には、外国人に対して自分から進んであいさつをするような前向きなコミュニケーションをとって欲しい。
- 《 委員 》 子どもの誘拐事件が続発する中、「知らない人には声をかけない」と教えられている子ども達が、外国人とコミュニケーションをとるのは難しい。
- 《 委員 》 外国語や外国語活動の授業の中で、子ども達にコミュニケーション能力を育てることや命の大切さを教える必要がある。
- 《 委員 》 外国の風習を理解させたり、外国人の人権について考えさせたりする学習も必要である。

「自転車の乗り方」について

- 《 委員 》 沼和田の小林商店が店をたたんだために、子ども達は部屋街道沿いのファミリーマートか駅南口のセブン・イレブンに、買い物に行く。その際、部屋街道を横断するのに一時停止する子が少ない。特に、沼和田郵便局の丁字路付近を横断するのは危険なのだが、一時停止しない。子ども達に注意喚起が必要である。
- 《 学校 》 早急に係を中心に対応する。

「雨天時の登校」について

- 《 委員 》 側溝がある通学路や農地の脇の通学路があるが、あまり端を歩くと農地やふたのない側溝の中に、落ちたりするのが危険である。また、雨の日は、側溝の上を歩くと、金属のふたの上は滑りやすい。できるだけ歩道の真ん中や、白線に近いところを歩くのが望ましい。
- 《 学校 》 列の前や後ろから来る自転車の事を考えると、班長としては端を歩くことを考える。状況に応じて、どこを歩くのが一番安全なのかを常に考えて、先頭で歩くのが理想である。臨機応変に行動できる子ども達に育てたい。



